THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷　第十一號

毎週金曜日發行

（大正四年十一月八日第三種郵便物認可）（大正五年三月十日發行）

婦人週報

本號目次

□六千萬人の浪費……小橋三四子
□時事週評……
□一人一評――田村俊子……
□高い物を買はぬ法……
▽市有の空地に市場を設けよ……山脇玄
▽魚屋の告白……松本雲舟
▽主婦の苦心……井村廷子
□田中芳子樣にお答します……向軍治
□名士と其母（一）尾崎法相……
□個人主義か家庭主義か……有馬純濟
□聖者……安中花子
□南洋の家より……高月千代子
□春寒きの草花……千葉晚香
□子供連れの客の饗應……川口寧子
□風を引いた場合……藤田新雲
□今週の惣菜……櫻井親子
□世界史お伽噺「音樂者アライオン」……
□小說「何處へゆく」……松本雲舟
□時事……女學校だより……編輯室より……

定價一部四錢五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

高島平三郎著

（再版）

婦人の生涯

紙數四百二十頁餘布製美裝天金箱入口定價壹圓四十錢送料八錢

現代の婦人の生涯程複雜で危險で多事多難でそして變化の多い者はない此書は少女より處女となり妻となり母となり老婆となるまで各時期の生活の特色を擧げて其に基く婦人の活動方面を説明し警戒せる一大教書也

内容●婦人の生涯●少女期を終るまで●青春の悶●結婚と人生●家庭を作る人の爲に●一家和合の道●麗はしく和合せる嫁姑の實例●婦人の長所と短所●氏か育ちか●心の衛生●性慾問題●婦人の社會的活動●生活狀態の變遷と女性●職業婦人の増加の傾向●職業問題と婦人の自覺●子に對する親の愛●里子に就て●兒童の爲めに●小さき胸にも迫らぬ心●夫の不品行に就て●貞操に就て●智識の後見●人形の話●修養と感化●老人の心理

日本女子商業學校學監 喜悦孝子著

（五版）

怒らず働け

四六判三百數十頁餘布製箱入口 定價金八十錢 送料八錢

婦人處世の道今の過渡時代より難きはなし家庭の事經濟の事結婚の事職業の事交際の事中正堅實の指導を要すること最も切なり此書は著者が多年教育上の實驗より得來れる悟道の精髓にして婦人界無比の一大教訓たり

内容目次　身の安心と心の安心▲巴爾幹婦人は能く其國を解す▲舶來品の輸入杜絶は天祐なり▲忠義の士を生んだ心▲離婚と云ふ嫌な問題▲自分の職業を真人とせよ▲臺所道具の選び方▲家計の執り方で成功した主婦▲人物の養成は賢母の手に依る▲經濟上から見た男と女▲苦學生の世話は豫ての希望▲最善を爲せと教へる主義▲記帳せぬ中は財布を明けぬ▲お上品に構へてはならぬ▲理想の夫と理想の妻▲女子が外に働くの可否▲時間を有効に利用せよ▲味噌汁と香の物に限る▲進物や手土産の選び方▲私の恩人棚橋絢子先生▲不景氣に打勝つ法▲臺所の整理と掃除▲美術の淀君豐臣を亡ぼす▲艱難に出遇ふ時の準備▲中流社會を標準としての寢具▲快活に働くが最良の處世法▲御掃除の稽古から▲始めより幸福と信じた塲合に結婚せよ▲社會上の義理を缺かぬ仕度▲私の娘時代の回顧

高島平三郎著

（四版）

精神修養逸話の泉

四六判四百頁餘布製箱入
定價金壹圓口送料八錢

逸話は人生の大河たる歷史の流れから其兩岸の磧に打ち上げられたる砂金であり明珠である寶石である本書は日本歷史の古今に渡つて此金石珠玉の中から特に精神修養に資すべきものの三百餘片を親切丁寧に拾ひ集めた長年月勞作の結果である切に大方の愛讀を祈る

發行所　東京市麹町區平河町五丁目三六　洛陽堂

（振替貯金口座東京二〇一九一四番）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六千萬人の浪費

△習慣に對する皮肉な問

私の姪は墨國に生れ、墨國に育つて、今四歲半計りになります。日本から送つてやる子供の雜誌を大喜びで見て居りますが、下駄の事を木の靴と云うてをかしがり「なぜ木の靴を穿くの」と尋ねるさうです。又「なぜ日本の女の子はこんなに袖の長い着物をきるの」と尋ねますので、「習慣だから」と母親が答へると、「なぜ習慣が出來たの」と追究するさうです。私はこの子供の無邪氣な問答の中に、習慣に對する大變な皮肉が含まれて居るやうに感じます。

△高い物を買はぬ法

「習慣だから」と私共が敢へて怪しまぬ處から、非常に窮窟な不便な不經濟な事を繰り返して居る事が多々あります。一と度子供心の無垢な考へに立ち歸つて「なぜ習慣が出來たか」と思へば、單に摸倣して無意義に繰り返へして居るに過ぎぬ事が尠なからぬので、一躍その境を飛び越して、新らしい道を踏む勇氣が、なぜ出ないのかと考へずには居られません。本誌上に論じた「高い物を買はぬ法」に就ても、其の習慣の隋力で、我が六千萬の人民が、日々どれ程のものを浪費して居るか解らぬのを省みたいものです。

△御用聽き廢止

高い物を買はぬ法には種々の注意が入りませうが、其の第一は御用聞きを廢して、良家の主婦が自ら店頭に立つて買物をする事です。かう一言に云つて終へば、何もむづかしい事は無いやうですが、魚屋なり八百屋なりが御用聞きに來ても、奧樣が臺所口に出張つて、品撰びをすれば「あの奧樣はいやしい」とか何とか噂するやうな世の中に、風呂敷や籠を抱へて八百屋や魚屋の店頭を徘徊する奧樣があれば、隨分目に立つことでせうが、然し同志が一人殖え二人増して、それが普通の事となれば、却つて火鉢の側に居て、下女を顎使ひして、出入の商人に品物を運ばせるといふやうな、大名式が馬鹿氣たをかしい習慣に思はれる時代が參りませう。

△皮切りさへ出來れば

昨年御大典間近に貴婦人方が花や旗を大道に立つてお賣りになりましたが、その一人が「始めは「どうぞお買ひ下さい」と云ふ聲さへも容易に出なかつたが、一度皮切りをしたら何でもなくなつた。終ひには大道演說でも出來さうに思へたとお仰つたのを伺つて、賣手になるよりも、買手になる方がいくら樂だか解りません。花や旗を抱へて、大道に立つた勇氣をお出しになれば、買出しに行く位は、何でもない事のみならず、一と度先鞭をつければ、却つて興味ある樂しい事となつて來ませう。

△朝鮮の市場

朝鮮には市中の各所に市が立つて居つて、魚、牛肉、鷄、玉子、さては米麥の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

類迄買つて居ります。折角この設備があるにも拘らず、日本の奥様の此處に出入する者は、極めて稀れであります。「なぜあなた方はこんな便宜な處にお出掛けになりません」と尋ねると、何れの方も「見つともなくて」と一言の許に跳ね付けて終はれました。内地にも若し幸にして市場の設けが出來ても、「見つともなくて」といふ念が婦人の頭から消えぬ以上は、徒らに市場が立ち朽れになつて終うでありませう。

△一人前五厘の節約

家庭に在つて割合に狹い小さい經濟計り取つて居りますと、一厘二厘の節約が何になると思はれませうが、事業に携はつて、稍大きな財政を司つて見ますと、一厘の違ひが一萬寄れば忽ち其處に十圓と云ふ大金を生み出すことを目擊して今更らに驚かれます。此處に五人の家族があるとして、一日食物から一人につき五厘の節約が出來れば、年には知らず識らず十圓近くの金を生み出すことになります。一人前五厘位は、たしかにこれ迄は御用聞きに拂つて居つたものであります。かやうな金を節約して、主婦が精神上、智識上に糧を得るやうな書物や有益な會合の費用に充つれば、永遠に朽ちぬ實を我が身の内に積んで行くことになります。家庭改良社會改良も、かやうな極く手近な出來易い事から、實行して參るやうに、お互ひに勵みたいものであります。(三四子)

時事週評

▲羅國皇太后逝く　ルーマニヤの皇太后は本月四日崩御されました。皇太后は三十七歳の時、王女に先立たれた悲しみをまぎらすために文筆を執り、「順禮者の悲しみ」、「女王の想」「ルーマニヤの詩」等の幾多の著述をなされ、「カルメン●シルヷ」といふ雅號で世界に知られてゐます。ルーマニヤ獨立戰爭の時には寢食を忘れて負傷兵の看護に盡され、又幾多の婦人事業に力を盡されました。七十三歳の高齡とはいへ、此の貴い女性を失くした事は、ルーマニヤのためばかりでなく、世界の婦人界のために惜しい事であります。

二

▲袁氏漸く悟る　南方の革命軍の勢力が、侮り難いので、袁氏も漸く窮して來たやうです。南軍を破るだけの兵力も金力も持たない袁氏もいと憐れな元首といはねばなりません。眞に支那を統一するとが出來ないで帝王になつた所で仕方がありますまい。袁氏は唯一種權謀に富んだ外交家で、眞の大將たる器ではないやうですから、支那の今後は益々亂れるでせう。支那を治むる者は誰か、支那の靑年にとりては、多幸多望の秋と申さねばなりません。

▲紙價調節の必要　米が肉體の糧であるならば、紙は精神の糧といつてよい時勢です、紙の暴騰に苦しんでゐる者が多い世の中に、米價調節を謀つた政府は何故紙價の調節を謀らぬでせう。調節といつて容易な事、紙の輸出を禁すればよいのです。紙が内地に拂底の世の中に、紙を輸出せんとする製紙塲の不正を正せば、それでよいのです。議會開會中二三の新聞に關係ある代議士が紙價調節を謀つて新聞用紙は値上げせずとの約束を製紙塲から得て、急に其運動を中止したのは、公人にあるまじき卑劣なる態度でした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（一人一評）

田村俊子

▲現代婦人の作家は雨後の筍のやうに澤山あるが、人から其の名を問はれたら、先づ心に浮ぶのは、田村俊子さんの名であらう。「俊子さん」に、それから――後は一寸名が出て來ない。それほど俊子さんは婦人の作家中にも傑出てゐるといつて差支ない。

▲俊子さんは面白い女である。親の遺傳の罪に屬すべく、決して俊子さん自身の罪でない其顏を美しく見せる卓越した技倆を有する女である。其笑ひには耻しさうな愛嬌がある。いかにも接して心地のよい女である。人に快感を與ふる爲に苦心する女である。其性格は極て善良で、涙もろい所がある。人に慈善を施すだけの俠氣がある。矢張江戸に生れた女である。

▲俊子さんは決して浮氣な女ではない。若し世間がさういふ風に俊子さんを誤解したら、可哀想である。若し浮氣であつたら、夫の松魚氏と別れてゐるかも知れない。俊子さんには一度一緒になつた夫に叛くやうな大それた考は決してない。何處までも夫を夫としてこれに仕へてゆく柔しい情緒を持つてゐる。

▲俊子さんに好かれてゐると己惚れてゐる男が世間にありとすれば、それは俊子さんの男の心理研究の材料に使はれてゐるのである。俊子さんは常に男の心理研究に熱心である。甞て須磨子の芝居を見た時、自分の側に坐つてゐた島村抱月氏によりかゝつて、其の心臟の鼓動を聴かうとしたといふ程、其の研究には女並でない藝當をも演ずるとの出來る人である。

▲甞て「ジョージ●サンドと其の戀人」さいふ書物を見た事がある。この佛蘭西の婦人作家も男の心理研究には熱心であつた。其の戀人は勿論複數である。其の書物の中に出てゐる彼女の戀人達の寫眞を見て、サンドから馬鹿にされて後世にまで其の馬鹿面をさらす薄のろの男達を憐れに感じた事がある。若し俊子さんが此世を逝つた後に「田村俊子と其の」といふやうな書物が出るとしたら、矢張さういふ馬鹿面を後世にまでさらす男達は氣の毒なものである。

▲俊子さんの傑作には「あきらめ」だの、「木乃伊の口紅」だのといふ小説があるが、まだ閑がないので一々讀んだ事がない。讀んだ事はないが、必らず人の好い俊子さんの性格と男の心理描寫は可成に出てゐる事と思ふ。

▲一葉は婦人の作家として不朽の名を成した。男とも餘程交際したやうだが、徒らに其の心狀を罵倒しただけで、俊子さんのやうに或る程度まで馬鹿にされたやうな振をして先方を馬鹿にするといふやうな曲藝はなし得なかつたので、男の心理描寫は極めて淺薄であつたやうに思ふ。そこへ行くと俊子さんは中々に偉らい。

▲併し俊子さんには一葉程の熱烈な所や何物をも貫ぬかんとする意志の力がないやうだ。意力一點張りの露伴氏の薫陶を受けた俊子さんとしては此點が物足りない。其故一葉以上の名をなさうとするなら唯男子研究丈でなく、もつと執着力を強くして勉學研鑚する必要があらう（くも）

三

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高い物を買はぬ法

主婦の經濟思想養成は今後の日本の焦眉の急

市有の空地に
市場を設けよ

貴族院議員
法學博士　山脇玄

△御用聞き廢止

此問題は、私の主張してゐる家庭改良の主要なる一項である。戰時に於ける獨英佛等の婦人が目醒しい活動を爲しつゝあるについては、平常より其丈の素養を作つて居たからで、我國婦人も、體力に智力に修養努力して永遠の發達を圖るべきであるが、目下の處日本婦人の爲すべき事は何であるかと云ふ問題に對しては、私は家庭を改良して時間と費用とを節約し、それにて手藝（レース、袋物、刺繡等）を爲し、其製作品を海外へ輸出して國力充實に盡すべしと云ふのである。而して家庭改良法の主なる點は、食事についての無駄を省く事、玄米を常食とすべき事、衣服の改良、殊に仕事服を作る事、家屋の改良等色々あるが、彼の御用商人なるもの丶出入りを廢して主婦自ら日用品の買出しにゆくと云ふ事が、最も費用を節約し得る道であり、御質問の品物を高く買はぬ秘訣であると思ふ。

△私の市場歩き

御用聞きなるものが出入りすると、先づ下らぬ世間話などで時間を妨げられ、長く出入してゐる中には、少しは高いと思はれても、又物が惡いと思つても買つて置くと云ふ樣な事になるばかりか、慥かに主婦自ら諸々の店頭に立つて比較研究して買入れて來るのと比ぶれば、先づ一割以上四割位高値のものを押付けられてゐる事を知るのである。私は此れにつ

四

き屢々魚市場や青物市場などへ出かけて行つて調べて見た一例を上げると、甘藷一貫目問屋で十錢のものが小賣店では其倍即ち二十錢で賣つてゐたり、大根など十本一束二十錢で問屋で買へるものが、一本四錢位で小賣されてゐるのを見た。魚市場には朝の中は商賣人が雜沓してゐるから、正午頃からゆくと大魚は無いが小魚の生のよいのが安く買へる。私は天ぷらやのおやぢがシコの一籠を二錢で買つて行つたのを見たが、あれなどは普通六錢位はするものだと思つて見た。

△附隨する利益

それで私の考へでは東京市が市有地にバラック風の建物を建て丶これを市場として生産者に安く貸與し、需要者即ち主婦達はそこへ出かけて淸新な日用食品を得る事が能る樣にする事が最も理想的であるので、將來はそこまで行かねばならぬと思ふ。而し斯の如き市場のない現在は如何したらよいかと云へば、自家の附近にある大店を幾軒も歩いて、品質と値段とを比較研究して、安い店を見出して買ふ樣にしたいのである。それには品物

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を見る眼力も必要であり、此必要にかられて常識も養はれ、今迄の樣に終日家庭に閉居する不快をも脫する事が出來る。而して此買出しに行くには是非とも現在の如き服裝を廢して、丈夫な木綿の仕事服を作り、それを着用する樣に致したい。尙今日の時勢に、内職をする事や買出しに行く事を、下等の人間のするもの丶如く考へる人があるならば、そは大いなる間違ひである。

魚屋の告白

賣りに來る魚は何故高いか

或時私は汽車の中で若い男が二三人で話し合つてゐるのを聽きました。「東京で魚屋の賣り子位儲かるとはない」と其の一人が言へば、他の者が「どうして」と聽く。「俺は麹町の魚屋に奉公してゐたのだが」と其の男が語り出した。「月給は五六圓さ。それが月に必らず五六十圓になるのだから奇體だらう」他の者は「どうして、そんなになるのだい」と不思議さう。「だつて、よいかね。朝、河岸から魚が來らあね。それを親方が十圓に買つて來いと言ひつけるだらう。十圓の荷を擔いで出かけて、まあ、あまり親しくない得意先へ行つては、「今日はどうも不漁で」とか何んとか言つて、三錢の切身は五錢に賣るやうにするさ、さうすると荷が半分も減らない内に、直ぐ十圓にならあね。十圓になつたから、もう家へ歸つても善いやうなもの丶、魚を殘して歸つては耻だからよ、今度は平素親しい得意先へ行つてよ、殘つた魚を安く賣るさ、さうすれば、直ぐ五六圓は日に自分の懷へ入るからね。だが、さういふ錢は持てない、すぐ使ひたくなるからな」この告白を聽いて、他の男達は「へい、さうかな、俺も東京へ行つて魚屋にならう」私はこの會話を側で聽いて居て、成程家にゐて物を買ふのは高いのだと悟りました。想はぬ研究をした事を喜びました。(雲舟)

主婦の苦心

醫學士夫人　井村延子

△雜品の買出

私どもでは兩三年前市内から郊外に移りましたが、郊外生活になつてから日用品の買出しには、餘程不便を感じて居ります。所謂別莊相場と申すやうに、品が惡くてお高く、されぱと云つて買出しに行くには非常に時間がか丶ります。紙、石鹼、その他時日が經つても腐らぬ雜品は、手帳に記して置いては、一週一度或は月に二度位、町に出かけた序に常から特約して居る店で、卸値で買つて來ます。さうすると一割五分乃至三割はお安くつきます。鼻紙などは、大きな儘を買つて、それを家で程よく裁つて使ふ樣に致して居ります。

△百姓と特約

八百屋物は夏向きには近所の百姓に特約して置いて、買入れる事にして居りますが、品が揃はずに隨分不便を感じます。町なら芹を一把、三ッ葉を一把といふやうに入用丈け少し宛買へますが、百姓から買へば多種類を集めやうとすれば幾軒も步かなければならず、その上餘り少しは賣つてくれません。然し賣つてくれるものは、勿論小賣りを通したものよりは二割方位はお安く、且つ品が新らしいの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で、心地はよろしうございます。

△衣服の類

衣服の類なら、始終入用なものではなし、彼の店此の店と比較してなほ店賣に恰好なものがなければ、傳手を求めて織元から買ふ事にして居りますので、隨分割安の物を着て居ります。お召なども十三四圓のものは十一圓位に、裏の白絹も一匹八九圓のものなら六七圓で買へます。子供のものは端物が多うございますから、大商店の賣出しに行き見繕つて買ふ事にして居ります。

＊　＊　＊　＊

東京の郊外のやうに忽ち良家が殖えて參るのなら、どうか主婦が同盟して、近所に日用品の市を立てるやうに運んだらよからうと始終考へて居りますが、まだ着手致しませんのを殘念にぞんじて居ります。

田中芳子様にお答します

向軍治

□

私の議論の中「感化出來ずば斷然捨つべし」といふ點には不贊成との事、御尤もに存じます。私の議論をかく丁寧にお讀み下さつた御精神を有難う存じます。精しく御返事申したいのですが多忙の爲め差當りそれが出來ない事を殘念に思ひます。小橋さんが私に代つて、私の云はんと欲する所を御述べ下さつた事を感謝致します。御返事はあれだけで十分と考へますが些か蛇足を加へて見ませう。

□

物を論ずるに絶體的に論ずる塲合と、比較的に論ずる塲合には少し違ひがあります。私は主義としては夫婦の關係は、これをつくる前に十分に思慮を要するものであつて、一旦關係が出來た以上は、肉體の亡びた後も猶久しくつゞくべきものと考へて居るのです。

□

男爵夫人の自殺に就て述べた事は、男爵夫人の塲合のみに過當する說で、必ずしもこれを他の塲合にも當て嵌めるといふのではありません。何時を最期と諦らむべきかといふ御質問ですが、男爵夫人の自殺をなす時が離婚の決心をなすべき時であつたのです。夫人が若し私の希望する程の生きた生命のある婦人であつたなら、自殺する代りに離婚して、遙かに以前の夫

六

を感化し、又廣く人を感化する事が出來た筈です。

□

私は男爵夫人に面會した事がないのですから夫人が先天的にこの力を持つて居られたか、否かを知らないのです。併し夫人が無學な親にあやまられ、遂に自殺するに至つた後天的の人格は、私の全然贊成ざる所で、何故斷然捨てる程の決心が出來ないのかと一寸詰つて見たのです。實は夫れを詰るのは死んだ犬を殺すの類で（啻に死人を詰つても駄目だといふ意味ではなく、生きて居られても夫人は詰る價値のない意味です）効能がないとは知つてゐたのですが、夫人と同じ境遇にある人の爲めにもと思つてが斷然捨つべしと提議したのです。

男爵夫人が氣毒な人、不幸な人といふのは此の意味なのです。

□

我國には柄にもない人が夫を感化する積りだと得意になつてゐて、その實、局外から見るとニタモノ夫婦なのが能くある事を實例によつて知つて居る私の眼から見ると、今日の我が國の女には感化出來ざれば捨つべしの氣慨があつてほしいのです。

我が國の女子教育を根本的に改良する事が必要だといふのも、感化出來ざる男子なしといふ時代が來るまでに女子を權威あるものとしたい所から割出して主張する說なのです。

殘念乍ら多忙ですから今度はこれで御免を蒙ります。小橋さんの御返事を合せて私の說を御味ひ下されば大概私の意のある所をお酌取り下さる事が出來やうと存じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（一）

司法大臣　尾崎行雄氏

□

私に父母から受けた感化と云ふ如きものがありとすれば、それは多く母から受けたものでありましたらう。何故なれば現存する父（行正氏七十九歳）は、明治維新の際、勤王家の一人として東奔西走して居りましたので、私と弟行昌とは專ら母しげ子の手に育てられたからであります。父は明治二年、天下定まつて後、家に落つく樣になりましたが、其頃は既に私共も人事を辨へる年頃となつてゐたのでした。

□

母とは、明治七年私が東都へ遊學するまで共に在りましたが、其後は殆んど離れて暮し、明治廿三年帝國議會の開設さるゝに際し、私が郷里三重縣より撰ばれて代議士となりました時、母を東京に招んで、同二十六年五十餘歳で長逝する迄三年間其老を養ふ事が出來ました。顧みれば可成り昔の事であり、且つ幼少の時の事でもありますから、母が吾々兄弟を育てますに、如何程苦心されたかと云ふ事は記憶に殘つて居りませぬが、唯一つ今日迄忘れる事の出來ないのは、勝ち氣な母の氣性であります。何事にまれ負ける事の嫌ひな母は、私等兄弟に對しても、常に不名譽な事を爲さぬ樣、之れに抵抗する氣性を涵養させるに努めて呉れたのです。が私は幼少から病身であつたので、他の子供の如く、惡戯も喧嘩も餘りしませんでしたから、斯云ふ點で母に誡められた事は、先づありませんでした。

□

私の家は、郷國でも古い名家でありましたが、丁度私の育てられる頃、父は國の爲に奔走して家を顧みるの暇なき有樣でありましたから、多分、一家の生計などども隨分困難であつたらうと思はれます。此生計困難な中に在つて、二十歳少し過ぎたばかりの母が、家名を辱しめぬ丈の品格を保つ樣、吾々を養育し、世間に交つてゆくについては隨分苦心の在つた事と思はれるのであります。其頃、吾家の附近には下賤な遊びをする子供等が居りましたので、私等も同じ子供であるから其眞似をして遊ばうとすると、母から、お前達は附近の子供等とは異ふ別格の人間であるのだから、彼等のやうな下賤な眞似をしてはなりませぬと誡められたのでありますが、何故に自分は他の子供のする事をしてならぬのだらうなど、子供心に不平を抱いたりしたともありました。――今、私が亡き母について思ひ出されるのは此位の事であります。

□訪問の日　尾崎法相から右のお話を伺つたのには議會閉院後議員招待會の準備などに忙しい官邸の應接間でした。秘書官に物優しい言葉で招待日の樂隊の交渉等を命じたりされる相間に法相は、亡き母堂を追懷されつゝ、靜かに而かも力强いお聲で語られたのでした。――記者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

個人主義か家族主義か

ドクトル、オブ、フイロソフイー　有馬純清

有馬氏は北米時事の主筆です。歸朝早々故國の風習を見て感ずる所が多いとの事です。この一篇もその所感の一節と見られます。

△現今日本の傾向

日本は家族主義であり、歐米殊に米國は個人主義であるといふ事は、云ひ古された事であるが、近來日本人も次第に個人主義的生活に移らうとする傾向が見える。これは文明の進歩と共に自然に起つて來る現象と見て差支へない。嫁と姑との問題、親子別居論の盛んに起るのを見ても、久しく盲從に、甘んじて居た婦人の間にも、漸く其の權利と自由とを伸張せんとする自覺を生じて來たものと考へる。國家としても露國は日本の代議政體に移る以前にも增して、獨裁政治であつたが、近來議會が開かれ、民意を重んずるに至つた。文明と共に憲政が發達して各個人の自由と權利とを認め來つては、將來どうしても日本の家族主義にも變動を及ぼすは止むを得ぬことである。

△生れると直ぐに吹き込む

歐米人の奉ずる個人主義には一面よい處がある。自分で自分を支配しやうとする獨立自尊の精神がある。米國邊の富豪の家は別として、普通の家族の子弟は出來得る限り自分の力で生活しやうとし、親の脛を嚙ぢるのは、寧ろ恥づべき事とする所謂自助の精神が強い。この精神は生れると直ぐ吹き込まれるのである。例へば生れたての子供を直ぐ獨りで寢かせる、二つ三つの可愛い、盛りになつても、親は抱いては寢ない。幼い時から泣いても容易に親は手をつけぬ。それが爲めに子供は親に甘へることとなしに、着物を着るにも、飯を食べるにも、凡て親に厄介をかけさせぬ。日本人のやうに子煩惱の者の目から見ると、慘酷にも思へる程である。この間も和田英作畫伯の令妹に會ふと、自分が桑港に居た時、子供を連れて街を歩いて居ると、子供が躓いて倒れた。驚いて抱き起さうとすると、通りかゝつた老婦人が「捨てゝお置きなさい、獨りで起させた方がよい」と申したといふ事を話されたが、この敎育法が彼れ等の特色で、自分の人格、自由、權利を重んずる事を、念々に吹き込むのである。

△冷たき半面

この長所の半面には短所の伴はぬではない。個人主義的の家庭はいかにも冷たい。停車場の人込みの中から夫婦は手をひき合つて出て來る後から、二三歲の子供が泣き乍らついて來るなどいふ極端な例をも見受くる。私がタコマで下宿して居た處のお婆さんは、息子は醫師で娘は相應の處に嫁入つて居るといふに、部屋貸しをした金でやう〳〵野菜を買つて生活して居るのであつた。私などが氣の毒に思つて、少々の物でも遣ると、日本人は親切だと云つて、近所合璧に云ひ觸らすので、飛んだ面目を施したことがあつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。かやうな生活をして居ても、命のある限りは働いて食べるのが當然と思つて居るので、少しの不平も云はぬ、彼れは彼れ、自分は自分と云ふ風であるが、私共からは餘りよい感じが起らぬ。なほ極端な者になると、老病で手のかゝる者などは、病院に入れて、家族の者は省みぬ。昔話にある姥捨山を今日の世間に見るやうである。

△依賴心の强い日本人

家族主義は之れに反して一般に依賴心が强くなる。日本人程文明國人として依賴心の强い人民は無い、子供は親に、親は子供に、妻は夫に、夫は妻に依賴して居る。そこで一族の中に一人立身出世をしやうものなら、寄つてたかつて食ひつぶさうとする。この依賴心ある點は大に考ふべき處で、もし將來この風を改むるにあらざれば、到底世界の競爭場裏に立つことが出來ぬ。

△離婚の多い原因

この家族主義は一方人情の美點はあるが、またこの主義の爲めに一家が不幸に陷つて居る事が尠くない。日本が世界の文明國中離婚數に於て勝つて居るのは、結婚に對する日本人の道德心が缺乏して居る外に、家族制度の弊害によるのであらうと思はれる。夫婦の仲はよくても親達の氣に入らなければ、箸の上げ下ろしにも目角を立てゝ、可憐の嫁をいぢめ出すとか、また息子の氣に入らぬ嫁を、親が無斷で取極め、結婚さして、終に生涯を不幸にするなど云ふ事は、いかにも長者の權利が多過ぎる爲めで、歐米人には理解の出來ぬ點である。西洋人は日本の人は結婚を輕んじ、まるで下女奉公にでも行く氣で輕卒に取扱ふと申すが、彼れ等にはいかに親權が抵抗し難きものであるかは、一寸解り難いと見える。

△將來の家庭

今後の日本をどこ迄も家族主義で一貫させやうと主張するのは、時勢を知らぬ人と申さねばならぬ。婦人にも女大學や小學に敎へてある樣な絕對服從を强ふるのは、不自然にして不當の事と云はねばならぬ。然らば將來の家庭はどんなにしたらばよいかと云ふに、年老つた人に解決せよとは云はぬ、若い人々が解決しなければならぬ。即ち個人主義的色彩を帶びたる家族主義、即ち親は子供の人格、權威、自由を認めて、之れを取扱ふに寬大になり、子はまた親に對しては、一朝にして久しき習慣の打破を迫らず、出來得る丈け徐々に理解を求めたいものである。新婚の夫妻は出來得る丈け、新らしい家を持つがよいが、もし經濟上其の他の關係上、同居しなければならぬとしたら、嫁に經濟權及び主婦たる權利を讓り新夫婦が主となつて家を作るがよからうと思ふ。新歸朝者の生田葵山君が、外國を見る迄はそんなにも思はなかつたが、日本婦人の現在は實に憐れなものであると云はれたが、今後婦人の人格と權利と自由とは、もつと尊重されるやうにならなければ、家庭も社會もいつ迄も片輪な狀態に居らねばならぬと思ふ。

聖者　　安中花子

つゆ程も我にさがなし、おごそかにユダの聖者を思ふたそがれ。

聖くして世に容れられぬ寂しさのふさ思はれつ、夕空みれば。

詮もなし、アダムの末に生れては罪をはなれむ術し知らなく。

大地われを基とし動くものとしも思ひ揚りてありぬ一とき。

星の默示むなしく夜こそ更けにけれ、聖者の心我に有らなく。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

南洋の家より

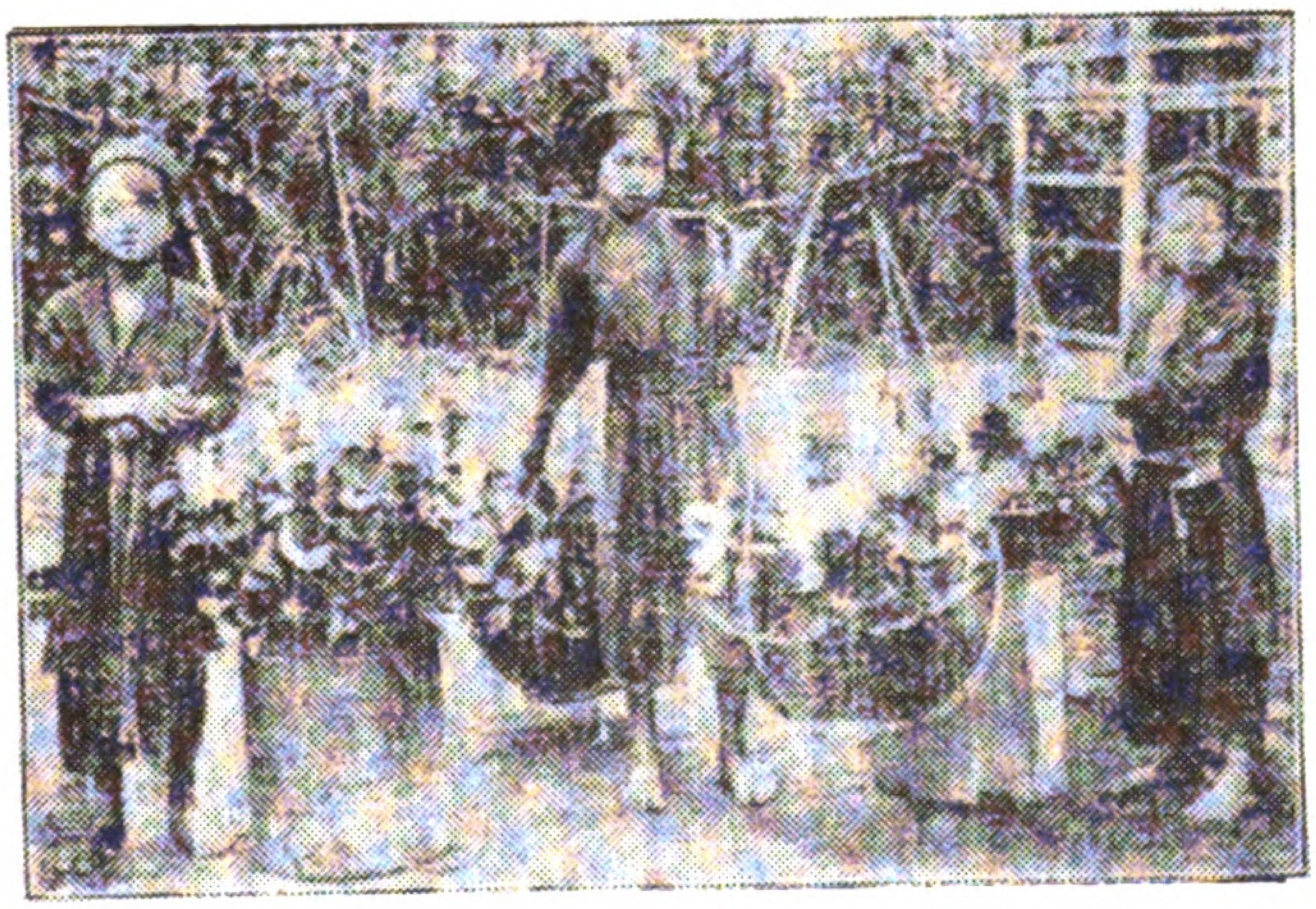
高月千代子

千代子さんは法學士高月一郞氏の夫人です。高月氏は久しく佛領印度支那の首府ハノイ市にあつて、實業に從事せられて居りました。昨夏新婚早々相携へて彼の地に渡り、樂しいホームを營み、力を協はせて事業の發展を計つて居られます、これは私信の一節です。

(前略)私は丁度五六年前の若さに立ちかへりまして、例のアップル、フェースをして居ります。熱帶國でこんな赤い頰をして居る者は私位なものです。それで家のボーイ曰く「日本マダム赤、佛蘭西白、安南人黑」など〻云ふて私を笑はしたのも、つゐ二三日前の事です。これで如何に私の丈夫なるかをお察しいたゞき度いのです。

□

御承知の通り此處は北緯二十一度にある熱帶地なんです。それで年中が雨期乾期の二期に分れて居る事は勿論、椰子、ピンロー樹、芭蕉等の生ひ繁れる樣、さてはマンゴー、パインアップル等の實れる樣は、いかにも熱帶の特色をあらはして居ります。のみならず大暑七八月はなか〳〵お暑い、丁度昨年私の初めて此地に參つた七月頃は、氣温實に華氏の八十五六度から九十度に上つて居りました。けれど此の時節には日毎に一二回の强雨があるので、照りつけられた土地や家屋が一時に洗はれ、草木人畜を蘇します。其の時の氣持ちのよい事、とても〳〵お話にならないのです。



安南の花賣少女

□

そして八月は照る〳〵カン〳〵照る、温度も昇る、晝夜の別なく九十度から九十五六度にもなります。此の時には流石熱帶式の大伽藍六十疊敷もあるやうな大きな部屋の眞中にある家具一切、椅子、テーブル樣のもの迄、殘らず生溫くなります。こんな時には夜になつてもとても〳〵眠らるゝものではございません。仕方がないので夕飯後涼みがてら、當市の東北を流るゝかの有名の紅河、其の上に架けられたる大鐵橋(長さ實に十六丁もあります)デユウメル橋上に涼みに行きます。此所には絶えず〳〵貿易風が强く吹いてますので、どんなお暑い時でも、全身の汗が吹き流されます。かうして一しきり涼んだり、會話のお稽古なぞをして歸るのです。

□

けれどこんな堪へ難い暑さといふのは、ほんの一週間位なものです。これ丈けは味はない人の解らない暑さなんです。けれども熱帶だから云ふて暑

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い〳〵季が幾ヶ月も續き、または年が年中お暑いのではないのです。九月に入ればきのふ迄の南風ががらりと北風に變つて、初秋の心地よさを覺えます。此の頃から一雨毎に涼しさが増り、雨量も次第に減じ、十月中ば頃から乾燥期に入りますと、うらゝかな小春日和が殆ど三月も續きます。かやうな時節になりますと、日曜の午後などは、きつと家中の者がお壽司やむすび持參で、郊外散歩に出かけます。こんな時にはほんとうに親しき友が居られたならばと、多勢の男子の中の獨りぼつちがつく〴〵と考へるのです。

□

今家の門邊に立つて、たゞぼんやりと往來の人を眺めて居ましても、佛人あり無論安南人あり、印度人あり、支那人あり、混血人も亦少くはないのです。そして其の風俗が一々異つて居る。殊に佛人ときては、先天的におしやれに妙を得て居るものと見え、こんな殖民地へ來て居ても、美しさに見とれる樣な裝ひをして居ります。安南婦人も中流以上になれば決して綿服などは着て居りませぬ。土地の名産の絽に模樣のあるもの、さもなくば支那縮緬を金茶色に染めて着て居ります。男子も下級を除くの他、皆平常に黒絽またはそれに模樣あるのを着て居ります。彼れ等は奇麗でもあり、清潔でもあります。けれども概して美術心が極めて幼稚なので、色の配合ですつかりこわして終ひます。下級になればそれが一層甚だしく、茶色の上着の穴をふさぐに黒でも赤でも構はぬのです。

□

この國の男子は頭髮を長く貯へ、これを頸のほとりに丸く束れて、頭の周圍を黒絽で七重八重に卷つけ、その上に赤や青の帶をしめて居ります。顔も至つて柔和で一寸男か女か見分けがつきません。私共は馴れぬ異郷の空で、ボーイやコックを使ひますのに、彼れ等の從順なるに、大に仕合せをして居ます。

（後略）

春蒔の草花

鉢や柑蜜箱に育てる注意

△三月下旬から四月一杯が東京橫濱あたりでに、草花の種子の蒔き付時であります。朝顔さか『ナスターチーム』の樣な霜に弱いものですと、五月になつてから蒔付けました方がよいのです。都會の手狹な所では鉢或は蜜柑箱の樣なものを利用して、種蒔をいたしますのが、通例の樣ですから、其鉢蒔に就て二三の心得方を申上げませう。

△種子の大粒なものですと、只土をかけて置きますれば、自然に發芽しますけれども草花類は何れも種子が細かですから、其種子を蒔付けます時、少し注意しなければなりません。

『ヂキタリス』や、『ポッピー』の樣な種子であります。只蒔付て土を掩ふと、其種が『ムラ』に蒔付られたり、被土が多かたりして、發芽が覺束ない事があります。

△其危險を避けます爲に、三錢なり二錢なり買入れました種子を、五勺か一合程の砂土に入れ、十分交ぜて、ソレチ口徑六七寸乃至一尺内外の鉢に、水拔よき土を盛りまして、其所に砂ぐろみ種子を蒔付けますと、其上に土を覆はなくもよいから、種子を蒔付け終りますと同時に如露で水をかけて、其上を新聞紙か何かで覆ひをして、日當りのよい所に出して發芽せしめますのです。

△發芽後本葉四五葉になつて、苗も稍々丈夫になつて來てから、植え替ゑますのです、植替の時は可成鉢植さぬがよいのです。

△春蒔草花の種類は澤山ありますが、金盞花、矢車、撫子類、カンパヌラー、勿忘草、ナスターチーム、百日草、浦島草、孔雀草、金魚草、松葉牡丹、セロシア貝細目、ダリア、アスター、等數百種あります。

（千葉晩香）

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子供連れの客の饗應

春先き始る私共の訪問

川口華子

△一寸目先きの變つた事

春が參りました。子供を連れて御無沙汰勝ちであつたお家を訪ね合ふのもこれからです。一體子供連れのお客は子供がよく遊んで居れば、親も暢りと遊べますのですから、子供本位のもてなしを致すのが一番だと思ひます。子供は何でも一寸目先きの變つた珍らしいものを好むものです。此の間も御懇意のお宅からお招きを受けて伺ひますと、各自に會席膳を据ゑて、御馳走して下さいましたので、常にテーブルでばかり食事を戴きつけて居る子供は大滿足で「お父樣のお客樣のやうだつた」と申して喜んで居りました。子供は食物の美味い不美味いと云ふ事よりも、目新らしい方がいゝのです。

△お膳は名附して座敷に

澤山の食物を一時に與へられて、子供の胃腸を害うやうでは、折角お招きを受けても困るやうな事が幾許もあります。それで先日宅でお雛さまのお客をいたしました時にも、其の考へを持つて、御馳走はほんの疎とした、お口取に、五目壽司、それにさゝえ位に止め、後は林檎、蜜柑等云ふ果物に、お豆煎等を差し上げまして、たゞ面白く遊んで戴くやうに努めました。唯お料理をいたします時に、配合に注意いたしまして成る可く美しく、それから子供が一般に嫌うやうなものをさける事です。例へばお壽司にいたしましても、酢がきき過ぎたり、辛味のものを用ひたりせず、又葱、人參等何方處の子供も好まぬやうなものは使はないで、何か他の物を用ゐる樣に致したいと思ひます。それから子供は、遊びながら御馳走を戴く事を喜びますから、食事が濟みましてからも、一々名附して、お座敷の端へ並べて置いて上げましたら、大喜びでした。

△大人と別々に遊ばせる

一體子供は大人の間に坐らせられる事は窮屈で又氣まり惡がるものですから、食事以外は全然お座敷を別けて、自由に遊ぶ事が出來るやうにして見ました處が各自に氣の向いた玩具を持つて、まゝごとを致したり、人形ごつこをしたり、又表へ出てブランコへ乘つたりして、お母樣の側に置きますよりも、餘程よく遊んで歸るのも忘れて居る位ゐでした。からして子供同志遊んで居ります間に、益する事も多いのですから、干渉なしに、自由に、樂に他家と云ふ感を失くして遊ばせる樣に、努め度いと思ひます。

□强壯劑としての肝油球

富谷藥局の製造して居る肝油球は、寒冒に罹り易い腺病質の子供や疲れ易い大人が、强壯劑として用ふれば特効があります。他の藥品と違ひ原料の精撰してある事は請け合ひです。本社代理部でも取次ぎを致します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

風を引いた場合の

素人療法の數々

薄田斬雲

季節の變り目には風邪が流行ります。今日は、風を引いた場合の私一個の養生法を書きます。

▲私は年中風の引き通し

風を引くと云ふ事は、私に取つて一番厄介なのです、ほんの一寸した風を引く—四五分の熱が出る位の輕微な風を引いても、私には大變こたへるのです。發熱すると第一に胃が冒かされて胃へ熱が滯る樣に思はれるのです。爲めに氣が重く食慾が減じて不快で堪りません。其癖年中風を引いて居て、頭が重く「今日は少しも熱が無い樣だから湯へ入らう」と思ふ日は數へる程しか無いのです。

從つて私は風引きを恐る丶事甚だしく造次顛沛にも注意して居ます。毎日弓を引きに行くのですが、一回毎に脱いだ肌を入れて羽織を引かけて風を引かない樣にと用心します。處が不思議な事に、寒いと思ふ樣な時は風を引かず、敢て特別に寒さを感じない時に突然惡寒がして風を引いて了うのです。

△私の服用する藥

こんなに風を引いては—而して輕度の熱が引切りなし出る樣では、其都度々々に醫者にかゝる譯にも行きません。自然素人療法を考へます。併し風引きには私が以前本誌で發表した火力療法位功果顯著にして氣樂な療法は無い。其後方々聞き合せますが、彼の吉田翁の樣な火の療法を行ふ人は未だに見付け得ません。誰人か御存じなら、敎へて下さい。

私は以前ヘブリン丸と云ふのを服用しましたが、其度に後で胸が痛くなつて、若しや肋膜ではないかと心配したものです。知合の醫師がヘブリン丸は君の體質には惡いと敎へましたから、恐ろしくて止めました。其後友人の藥劑師から敎はつて「アセチールサルチール酸」と云ふ硼酸樣の白い散藥を一日一グラムの分量で服用しますと、之は一番好結果を得るので、私は今でも些と風を引いたと感ずる時は直ぐ服用するのです。廿五グラム入りの壜を一ツ買つてから早や二年になりますが、まだ三分一殘つて居ます、三日四日と推してからだと此の藥を少量では利目がないかも知れませんが、私は風を引いたと感ずるや否や直ぐ服用するので一グラムより少つと少く用ゐても十分に利くのです。熱が烈しくならぬ中手當をするのが利口な方法の樣です。

△風邪の熱か他の病の熱か

但し、風邪の熱か其他の病の熱か判然しまいと云ふ疑がありませうが、私には風を引いた時の氣分は直覺で大抵解ります。胃熱だの又は他の病から來る熱は、ポッと全身が蒸れる樣な、酒にでも醉ふた樣な感じになりますが、風を引いた時の熱は惡寒がして頭と胃がいやに重苦しく感じられます。

風を引いて炬燵に入るのは、大變具合

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が悪いのです。手足がから〳〵に乾いて、鼻が乾いて大變苦しくなります。夫れから些とばかりの風なら湯へ入るが好いと云ふ人もありますが、私なら絶對に禁物です。第一少しでも熱があると、湯へ入つても心臟が苦しくなつて汗が出る迄入つて居られません。汗が出ない中に上つて來ると、熱が中へ引込んだ樣な具合で一層苦しくなります。そして却々熱が去らないのです。

△土耳古風呂の利目

上半身に着物を着た儘で、下半身の腰湯は輕度の風邪引きには確かに好いのです。腰湯なら汗が出る迄入つて居られます。私の經驗では、風を引いたと感じた日に、腰湯を使ふのは確かに好い樣です。

からし湯にすると一層利きます。

湯氣で蒸す例の土耳古風呂と云のへ先日始めて入つて見ましたが、之は私には甚だ具合が好いものでした。私は熱湯が大嫌ひ、入る刹那、ぞく〳〵となるのが嫌で堪らないのです。處が土耳古風呂はむつと蒸されるので、ぞく〳〵する感じがありません。そして汗が氣持能く出る事――十分も入つて居やうものなら乾いた手拭が絞る程になります。勿論湯氣の爲もあるのですが、私は嘗てない事です。それからだく〳〵汗が出た經驗は嘗てない事です。そ

れが裸で出來るのだから蒲團の中で汗を取るのと異つて不快な事はありません。風邪の罹り始めなら土耳古風呂が持つて來いの療法と思ひます。併し土耳古風呂は熱海あたりの溫泉場の外にはない樣です。東京でも以前神田の三崎町に一軒有つたとか聞きますが、今ではない樣です。大學病院とか、又は一個人經營の大きい病院あたりで、土耳古風呂を設けて外來者をも入浴させたら、一浴二三十錢でも私は眞先きに飛込むつもりで居ます。肩の凝りなどでも、按摩よりは此の方が好さそうです。

今週の惣菜

櫻井ちか子

□ほうれん草のスープ

ほうれん草に重曹を少し入れて、柔かに茹で、裏漉ししましたらば、別に牛乳を沸騰てゝ置きまして、其の中に入れます。これに水で解いた饂飩粉を少し入れますと汁が濃くなります。そしてクラッカー或はパンの、香ばしく焼いたのを入れて出します。ほうれん草の漉したのを中匙一杯に牛乳一合の割合に致します。

□蛤のスープ

蛤は貝のまゝ、普通の汁よりも水を少なくして沸騰て、其の汁を漉して砂を取り、次に蛤の貝と腸とを去つて細かにきざみます。牛乳を前と同じく沸騰てましたらば、これと同量の蛤の汁を入れ、前の蛤を加へて、水で解つた饂飩粉をかき交ぜながら入れます。そしてクラッカー或はパンの焼いたのを入れ、下す前にパセリ、三葉又は獨活の如き香物を入れます。

□ちり豆腐

豆腐を奴に切つて鍋に入れ、それを半ば蔽ふ位の水で、魚の小さい切身と一所に煮ます。魚が煮えた時に、魚と豆腐と汁とを深皿に盛り、酢醤油をかけて出します。豆腐の煮えました頃に、春菊か三葉を入れると結構です。酢は橙か柚子の汁がよろしい、又ポンスを用ひても差支へありません。魚は鯛、鰤の如き身の緊つた、小骨のないものを用ゐます。

□木の芽田楽

豆腐を俎に載せて布巾を蔽ひ、その上から押をして水氣を去り、適宜に切つて串にさして、兩面が狐色になるまで焼いて、木の芽味噌をつけます。木の芽味噌を作るには、先づ山椒の葉を擂鉢でよく擂り、味噌を加へて再び能く擂ります。それから砂糖を交ぜた後味淋か水を入れて ゆるめるのです。

□油揚飯

油揚と胡蘿蔔とを細かに刻んで味をつけて置いて、御飯をお櫃に移す時に、交ぜながら移します。油揚も胡蘿蔔も煮立ての熱い所を入れるのです。初め御飯を炊く時の醤油は、一升の米に五勺の割でよろしう御座います。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

音樂者アライオン海豚に救はる

斬雲

太古に、コリンスの國にペリヤンダーと云ふ王樣がありました。此の王樣は大變音樂が好きでしたから、其のお宮の中に澤山の音樂者を集めて置きましたが、其中にもアライオンと云ふのは、天下一の音樂者で、誰れ一人其名を知らない者はありませんでした。

處が、此のアライオンが、其後伊太利の國々を遊びながら音樂をして廻つたので、澤山のお金を儲けて、やがて本國のコリンスに歸らうと思ひ、就ては自分の國の人の持つて居る船に乘つて歸る事に定め、コリンス人の船を一艘傭ひ之に乘つて伊太利の地を出帆しました。すると、船の水夫共はアライオンが澤山お金を持つて居る事を知りまして、惡い相談をしアライオンを海へ投げ込んで其のお金を奪ひ取らうと云ふのです。

アライオンは之を見てびつくりし、水夫共に向ひまして「私はお金なんかは無くても好い、皆んなお前さん達に上げるから生命丈けは助けて呉れ」と申しましたが、水夫共は聞き付けません「お金を取つてお前さんを生かして置いては、私達が泥棒した事が知れます、お前さんは、國王ペリヤンダー樣の御贔負の人だから、此の事を聞いたらペリヤンダー王樣はきつと私達を殺します、どうでもお前さんを殺してお金を取らなくてはなりません、だが、お前さんも海の中でお陀佛になるのが嫌だ、陸で葬られたいと思ふのなら今の中早く自殺しなさい、そしたら死骸を陸へ運んでやる。さもなくば早く海へ飛び込んで了ひなさい、それも厭やと云ふなら面倒臭いから私達は手取り足取りお前さんを海の中へ眞逆樣に投げ込んでやる迄だ」と云ふのです。

アライオンも今は仕方がありません「そんなら私も此の世の思ひ出に、晴れ衣を着て、私の好きな竪琴を一曲彈き、其上で自身海へ飛び込みませう」と申しますと、水夫共も喜んで、「そいつア堪へられねい、當節天下一と言はるゝお前さんの竪琴を聽いた上に木戸錢も拂はずにお金はそつくり私等の物になるは難有てい、早速おやりなせい」と云ふのです。

そこでアライオンは筺の中から目も覺める樣な美しい衣裳を取出して之を着、大事の竪琴を抱へて舷に立ち音色面白く一曲彈き終ると共に、ざんぶと海中に飛び込み、姿は見えずなりました、水夫共は後に殘つたアライオンの金箱から澤山のお金を出して皆んなで分けて取り、大喜びでコリンスの本國に歸りました。（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯

何處へゆく（十一）

松本雲舟

訪問の七

ペトロニウスは不圖クリソテミスを思ひ浮べたが、氣まりが惡くなつて笑ひかけた。クリソテミスが金色の粉を髮の毛に振りかけて、黑い眉毛をしてゐても、萎んで落ちさうになつた薔薇のやうに不思議に色衰へたやうに想はれたからである。それでも全羅馬は彼がクリソテミスと一緒になつたとを羨んでゐる。それならリジヤをポッペヤに較べたらどうか。この有名な美人も蠟で作つた假面のやうに生氣がなく感ぜられた。タナグレ族の容貌を持つたこの娘は春の精であるばかりか、薔薇色の姿の中に燈の火の如く輝く煌々たる生命の靈である。

「ヴイニチウスは正當だ」とペトロニウスは想つた。「クリソテミスは古い、古い――トロイのやうに古い」

やがてペトロニウスはポムポニヤ・グレシナの方を向いて、庭を指さしながら

「奧樣、かういふお二人の方がおありでは、演技場よりも、ネロの御殿の饗應よりも御家の方が善い筈ですな」

「さうでございます」とポンポニヤは小さいアウルスとリジヤの方へ眼を向けて答へた。

老將軍は娘の來歷を語り始めた。それから暗い北方に住んでゐるリジヤ族に就てアテリウス・ヒステルから永い前に聽いた事を語つた。

若い人々は毬投げを終つてから、暫らくの間庭の砂路を歩いてゐた。桃金孃とイトスギを背景として三つの白い像のやうに見えた。リジヤは小さいアウルスの手を曳いた。暫し散歩してから、三人は庭の眞中にある池の汀の腰掛に坐つた。小さいアウルスは澄み渡つた水中の魚を

十六

驚かさうと思つて直ぐに驅け出した。ヴイニチウスは散歩しながら話してゐた話題を續けた。

「さうです」と低い躊ふ聲で、「私は自由を與へられた市民の子供が十七まで着てゐる衣物を脫ぐが早いか、亞細亞の軍隊にやられてしまつたのです。羅馬のことも、人生のとも、戀のとも知らぬわけですな。アナクレオンとホレースの詩の一句や二句は諳誦してゐますが、ペトロニウスのやうに、心が嬉しさにこみあげて、口に言ふとが出來ぬほどになつた時に詩の句を引照して來るやうなとは出來ません。子供の時にムソニウスの學校へやられまして、幸福といふものは神々が願ふ所を願ふやうにすればよい。つまり我々の心次第だといふやうな事をよく話されましたがね。どうも今では我々の心次第ではないもつと高尙な、もつと美しい幸福があるやうに思はれます。つまり戀だけが與へるとの出來る幸福ですな。神々すらもそれを獲やうとしてゐるのです。だから戀を味つたとのない私は、神々の例に倣ふのです。リジヤさん。私は私に祝福してくれる人が欲しいのです」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヴイニチウスは言葉を切つた。小さいアウルスが魚を驚かさうとして投げる石が水にあたる靜かな音のほか、暫らくは何にも聽えなかつた。間もなくヴイニチウスはもつと柔しい低い聲で又語り初めた。「あなたは多分ヴエスパシヤンの息子のチタスのことをお聽きになつたでせう。まだ乳臭い時分にヴエロニカと深い戀に陷ちて、悲哀に墓へ沈みさうになつたさうですね。私もさういふ戀に落ちたらしいです。リジヤさん、富も名譽も權力も皆煙です、虚榮です。金持の上にはもつと金持があるし、有名な人でももつと有名な人に較べたら影のやうなものですし、權力ある人はもつと權力ある人に征服されますからな。皇帝でも神々でも、愛する人を胸に抱へる人以上の歡喜を知るとは出來ないし、愛する人の唇を接吻する人以上の幸福を感ずるとは出來ませんからね。だから戀は私共を神々と同一にするのですな、リジヤさん」

リジヤは聽いてゐて、そは／＼して、吃驚した。まるで希臘の笛か竪琴の音を聽いてゐるやうである。時にはヴイニチウスが不思議な歌を唄つて、それを耳の中へ注ぎ込むやうに思はれた。血は脈れ、心は凍るやうであるが、それでも言ひ難き喜悦に滿されるのであつた。おまけに心の中に隱れてゐて、今まで説明することの出來なかつた事を語られるやうな氣がした。心の中に睡つてゐたものを呼ひ醒されたやうである。この時から混然たる夢は判然した蕩かすやうな美しい姿になり始めた。

やがて太陽はタイバー河の上を越して、ヤニクルムの岡に沈みかゝつた。紫の光が空中に泌み渡るやうに、風にゆれぬイトスギの樹を照した。リジヤは輝く青い眼をあげた。これは今しがたヴイニチウスに睡りから醒された眼である。日沒の光の中に、ヴイニチウスは憧れに震へる眼をしてリジヤの方へ憑りかゝつてゐる。その姿は人間よりも美しく、リジヤに見えた。殿堂の搏風の上にある希臘羅馬の神々の像のやうに見えた。ヴイニチウスは靜かにリジヤの肘の上を握んで、「リジヤさん、なぜ私がこんな事を言ふか解りましたか」

「いゝえ」とヴイニチウスには聽えないやうな低い聲でリジヤが囁いた。でも、ヴイニチウスは解らぬ筈はないと思つた。で、リジヤの腕をもつと激しく引張つて自分の胸に當てやうとした。その胸は娘の美しさに醒された煩惱の光に槌の如く響くのであつた。倚熱烈な想を打明けやうとした時、プラウチウスが桃金孃を植込んだ路に現はれて、

「日が暮れますから」と呼びかけた。「冷ないやうに氣をつけなさい。埋葬の女神リビチナに係はりあつてはいけませんよ」

「なに、大丈夫です」とヴイニチウスが答へた。「上衣を着ないでも、寒くはありません」

「でも、岡の向ふに日が沈んで、半分も見えなくなつたですからな」と老將軍が諫める句調で「茲はシシリーのやうに善い氣候ではないですからな。シシリーなら夕方は市場に大勢集つて、暮れゆく日の神に別れの歌を唄つて挨拶しますがな」

十七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

社告

▲本社には振替口座東京三一六六〇番がありますので、大方の愛讀者各位より購讀料を御拂込み下さいまして、お互に非常に便利に存じて居りますけれど、尚ほ郵便局まで御出になるのに大邊遠い處のお方や、又御多用で態々郵便局まで參られる御暇の無い方々の御便利を圖る爲め今後集金郵便によつて御集金申す事にいたしますから、右豫め御含み置き下さいませ。

▲就きましては、只今までの購讀料未納の御方々へは、集金郵便を出しますから、何卒左樣御承知置き下され、御支拂下さいます樣に願ひ上げます。

▲尙ほ、集金郵便は金額一圓迄金六錢の手數料を納めなければなりませぬが、時局の爲め用紙印刷代等暴騰の折柄諸經費嵩み勝ちの處でありますから、購讀者各位に於て此手數料の半額金三錢丈御負擔下さいます樣に、特に御願ひ申します。

▲又、新定價（一部金四錢五厘送料五厘）發表以前に申込まれた購讀者には舊定價にて一年間は差上げる筈でありましたが時局の影響にて諸雜誌とも値上を斷行せんとする際でありますから、此事情御察し下され、爾今新定價に依り御購讀下さいますやうお願ひいたします。

時事

◉立太子式內定す 紀元節に執行さるべきの處、御準備其他の御都合上、今秋まで御延期となりたる立太子式は、十月卅一日天長節祝日を以て御擧行相成事に內定ありたりと。

◉東宮初御對顏 東宮殿下は五日沼津御用邸より葉山御用邸に行啓あらせられ、御座所に於て兩陛下並に御弟澄宮殿下に御對顏遊ばされ、同日午後沼津に還啓相成りたり。

◉明治神宮奉賛會へ御下賜金 兩陛下には明治神宮奉賛會の事業補助の思召を以て去る一日金三十萬圓を御下賜あらせられたり。

◉羅馬尼皇太后 カルメン・シルヴ陛下は四日朝崩御相なりたり。行年七十三歲太后は幼少より文學に秀で詩人として名を知られたる人なり。

◉電車值上案委員附託 奥田市長病氣の爲め延期されたる電車賃値上案討議の東京市會は、六日開會されたるが、反對派の猛烈なる即決否決主張も破れて、贊成三十六人反對二十七人にて愈委員附託に決し議長指名各區一名の割を以て十五名の委員を擧ぐる事に決したり。

◉遣英救護班歸朝 昨年二月一日より同年十一月三十日迄滿十一ヶ月間英國ネトリー赤十字病院にて多數の傷病兵を救護して絕大の賞賛と感謝とを拂はれたる我遣英救護班一行鈴木醫長以下二十六名は愈來る二十三日神戶着の伏見丸にて歸朝すべし。

◉女子體育の爲め四十の手習 最近東京日日新聞の報道する所に依れば、市外元日暮里の女子體操音樂學校長藤村とよ子（四〇）女史は、目下日本女醫學校に通學し醫學の修得に努めつゝありと。女史が斯く四十の手習を發心したるは女醫たらんが爲めにあらずして、如何にせば女子體育の改善を全うし得るかの實行方法として、如何に體操せしめたらばよきやを硏究する基礎として女子の體質を硏究せんが爲めなりと云ふ。奇特なる婦人と云ふべし。

◉山縣公令孫の新婚 山縣公爵嫡孫山縣辰告氏（二九）は、來四月、參謀次長田中義一中將の媒妁にて舊富山藩主前田利同伯二女鞭子（二一）と結婚すべし。新夫は外國語學校卒業後獨逸に留學し造林學を修め、歸朝後は茨城縣那須野の山縣農場を主宰し居りし人、新婦鞭子の君は一昨春學習院女學部を卒業のオ媛にして、近く新夫婦は那須野に於て農民生活を營むべしと。

◉勲章と年金 日獨戰行賞の一時賜金は二千八百萬圓に達し、年金の增額亦年額八十萬圓內外に及ぶべしと云ふ。尙は大正四年十一月末の調査に依れば金鵄勳章旭日勳章を合せて人員七萬四千百十七人に對し年金額九百五十四萬三千二百餘圓にして、之れに今回行賞の分を加算せば千三十五萬七千五百餘圓となる次第なりと。

◉續々來る宙返り飛行家 目下在留中の米國飛行家ナイルス氏が到る處に歡迎さるゝより、同國飛行家の來遊心を煽り、ナイルス氏以上の宙返り飛行家スミス氏が、二日桑港發來朝の途にあるを始として、本年中に七八名の大飛行家來朝すべしと云ふ。中にカザリン・スチユトソン（二〇）なる女流飛行家もありと傳へらる。

◉途中下車隨意 鐵道院は從來の途中下車驛制度を廢し來五月十五日より乘客は隨意何れの驛にも下車するを得る事となれり。但し二十五哩以上三百哩未滿のものは二回、七百哩未滿は三回、千二百哩未滿は四回、それ以上は五回下車し得る規定なりと。即ち東京大阪間（三百五十六哩）は途中三回下車する事を得る次第なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉婦人記者倶樂部例會　五日午前十一時より赤坂溜池三婦人矯風會内に例會を開く。服部桂子（萬朝）河口正子（女子青年界）大澤豊子（時事）竹中繁子（朝日）守屋東子（婦人新報）及び本誌の小橋三四子等會合し例の如く歡談盡きず、三時頃解散せり。

學校だより

▲臨時教員の依託學校　東京女子高等師範學校内第六臨時教員養成所にて、來る四月入學を許可すべき生徒に對し、家事、裁縫兩科に就き其の依託をなすべき學校は、左の四校と決定せられたり。
東京府立第一高等女學校專攻科。
東京裁縫女學校高等師範部。
共立女子職業學校高等師範部。
和洋裁縫女學校高等裁縫教員養成所。

▲東京裁縫女學校　三月三日大日本女子教育會主催にて女子集談會を開き、學校、家庭、社會の風教等に關して種々懇談する所ありたりと。

▲櫻井高等女學校

奈良より

口一昨年の事でありますが八月廿三日獨逸國に對する宣戰の大詔を煥發あらせられましてより間もなく九月の初め「戰時心得」と題致し、戰時中我が國民として又高等女學校生徒として守らねばならぬ心得條項を生徒に配布致しましたところが、その中の或一ヶ條「戰時に際しては總ての事皆經濟的なるべきは云ふまでもなし、殊に學校生徒たるものは舶來品を全廢するは勿論のこと學用品其他の雜品も大に節約し努めて廢物を利用する等自己の心掛により平時よりも幾許かの餘剩を存して之を貯蓄し奉公資金の一部に充つべし」を見て生徒の役員（各學級に七人づゝの役員が居ります）が相談をしまして賃仕事をしたいといふことを申し出ました。

口これが今も尚引きつゞいてやつて居りまする賃仕事の起りであります。此時のお話をしますれば長くなりますからやめますが賃を得る仕事の種類につきましては生徒は、それはほんとに私等の迚も考へつかぬやうな考を出すものであるといふことを知りました。この賃仕事で得たお金の幾分を出しましてその當時出征兵士の慰問として陸海軍へ各々手拭一千筋づつを送りました●

口その次には昨年の二月、各自當時の現在高の三分の一づゝを出しまして孝女佐藤つる女に送りました。その次には昨年の四月同じく各自當時の現在高の三分の一づゝを出しまして白國同情會へ送りました。その次には本年一月同じく各自現在高の三分の一づゝを出しまして日本一の孝女高原はろの女史後援會及女史のお手元へと送りました。女史及後援會から、懇丁寧な御禮状をいただきまして一同恐縮致しました。それに尚後援會からは女史の傳記を多數御送附下さいました、誠に當つてこの傳記を貰ひました子は感涙にむせびながら、幾度もくりかへして讀みました、鬮に敗けました者もそれ〳〵借りて讀んではその孝心に徹底せるに感歎致しました。「この孝女の十分の一、百分の一とまでは行かずともこの孝女の心を心として、せめては親に心配をかけぬ娘、親を安心させる娘であつて下さい」とは校長の朝禮に於ける御話しでありました。

口話は變りますが、本年の宮中御歌御會に御入選なされました大和生駒部の北朴木久枝様は當校々長の御令嬢で、平素から誠に徳の高い方であります。此度の御譽を生徒はまるで我家族の者がこの光榮に浴したかのやうに眞心より喜び祝ひました。そこで又役員が相談をしまして一誠に拙いものでさても御目にかけられるやうなものではありませぬけれど、私共の心を受け入れていただきたいとてそれ〳〵歌、作文、大字、圖畫等拙いながらも書きました。これを一まとめにして校長様――久枝女史の父君――の前へさし出しましたら、流石に子を喜ばれる親心の、さり騷がれた樣は見えませんでしたけれども、かすかに洩らされた微笑のそれと察せられて誠に嬉しう御座いましたと上級の級長が話して居りました。

――この種の女學校だよりを歡迎致します
どうぞ續々御投稿願ひます

新刊紹介

◉寄贈雜誌　▲新家庭三月號（新たに生れたる家庭雜誌にして、美しき寫眞と趣味ある記事に滿つ）定價廿五錢送料三錢、芝區芝公園九號地主文社發行）▲兒童研究三月號（一部拾六錢、本鄉西片町十同社發行）▲大阪講壇三月號（一部十七錢、大阪西區江戸堀北通一丁目同社發行）▲婦人新報三月號（一部六錢、赤坂溜池婦人矯風會發行）▲護教廿六卷十號（一部四錢五厘、赤坂青山南町五丁目同社發行）▲子供の友四月號（一部十二錢、府下雜司ヶ谷上り屋敷婦人之友社發行）▲家庭週報三五六號（一部送料共三錢五厘、小石川日本女子大學校櫻風會發行）▲新女界三月號（一部十二錢送料五厘、小石川林町新人社發行）▲新人三月號（一部二十錢送料一錢、小石川林町同社發行）

十九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

個人消息

△田島たけ子　（田島明治大學理事母堂）高齢者の一人として、昨年天盃を拜受したる刀自は一日午前一時三十分逝けり、享年八十三。

△久布白落實子　（牧師夫人）嘗て米國に留學し女流神學者として名高き同女史は、今同家族打連れて上京し、婦人矯風會總幹事として就任さる。女史は矢島揖子刀自の令姪なり。

△入澤常子　（醫學博士夫人）兼れて研究中なる服裝改良につき、愈よ實行の方法に取かゝらんとして目下運動中。

●家庭教師に雇はれたし　良家の夫人にて、小學正教員の免許狀あり。俄かに夫が非職となりたるにつき、何れかの家庭のお子樣方の通ひの敎師に雇はれたいと申して居るのがあります。（記者）

編輯室より

▲前號にて愛讀者の皆樣方に、一人宛でも新らたな讀者をお作り下さる樣お願ひ致しました處、早速御援助下さいまして、續々御申込みを頂き、誠に嬉しく有難く存じます。なほこの後とも本誌發展の上に常に御後援下さいますやう、お願ひ致します。▲本號から掲載し始めました名士と其の母とは、何れも社會顯要の地位に居らるゝ方々が、千金の時を割いて特に本誌の爲めにお話し下さるのです。必ず興味と共に參考になる事が多からうと存じます。▲本誌が皆樣の御手許に幾分なりと好よしき精神上、知識上の糧を齎らすものである事を思ふ時に、編輯子は凡ての疲れも困難も忘れて、只管に喜ばしく存じます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（每週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ケ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ケ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四、）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子

印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　東京支店　福音印刷合資會社

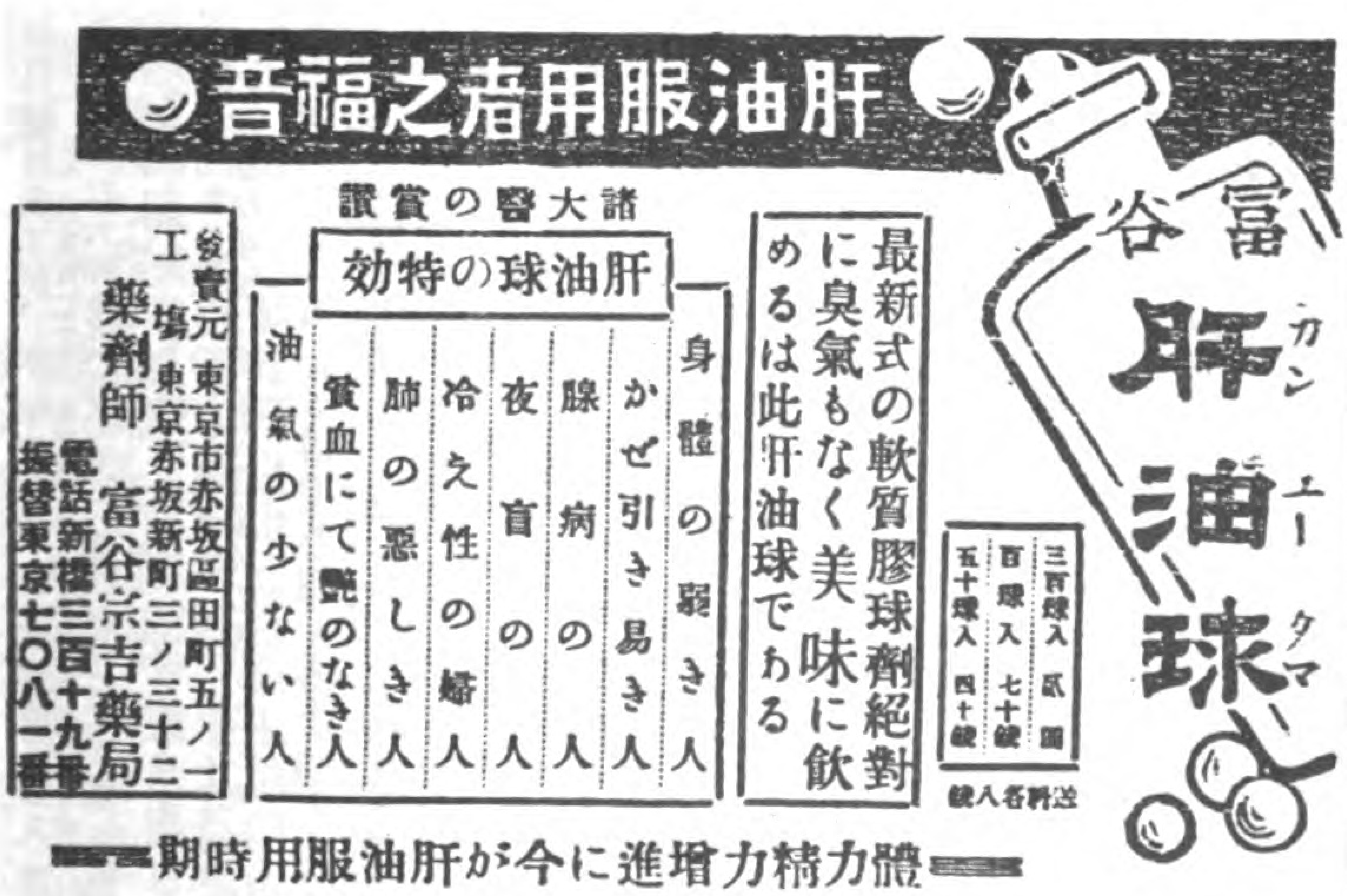
發行所　東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初步より學ばれんとする者にも懇切に敎授す。家庭的寄宿舍の設けあり。

ピアノ個人敎授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地
英語專門私立　櫻井女塾
電話下谷六八一五番



二十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察　月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町　六二一番
東洋内科醫院
院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番
南湖院
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需

クリーニング
は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同樣になります
和服洋服　外套インバ東コートネル・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニングと染色を丁寧親切迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際　電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麴町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

◎生徒募集家族的寄宿の便あり
個人教授　裁縫技藝
●造花●摘細工●縫細工●綿細工●儀式用折紙●水引結方　▲入所時間科目隨意
●編物●袋物●刺繍●壜細工
麴町區富士見町五ノ二
大妻技藝傳習所

胃を丈夫にし消化をよくす
胃强
一個　金拾錢也
改良はあくまで弊店の主義に候も胃强に就いては此上改良の餘地なきまでに相成り居り候
振替口座三一六九二
小石川高田老松町十七　發賣元　目白藥局

腦神經精神病
院長　ドクトルノデチネー　齋藤紀一
青山腦病院　東京赤坂
電話芝二七四五・二六六五（帝國腦病院改）

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫　井出茂代
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル　富田貞一
日本橋區高砂町六（久松町停留場より西一丁）
電話浪花五四〇五

園藝大家實驗　千葉晩香先生　發見
長崎藥學士　岡村繁先生　製劑
美妙水
大瓶　金廿五錢
中瓶　金拾五錢
各送料金八錢宛（海外は別送料）
◎美妙水の著能　凍傷。濕疹・疥癬　其他
▲蚋蜂▲南京蟲等に螫刺されたる時
發賣元　横濱市青木町輕井澤一九五五　龍明堂　千葉せい
（振替東京壹六五四參番）

京都染物
東京市本郷區湯島新花町八番地
井筒屋支店
中村榮次郎
電話下谷五六七四
（御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA